

かけはし



伊賀市立三訪小学校だより
2024年9月27日 No.13
発行責任者 高橋 昌史

6年生 寺田市民館訪問

～差別をなくす行動につなげるために～

9月20日（金）、6年生は寺田市民館を訪問し、人権学習を行いました。服部館長さんをはじめ、松村さん、安田さん、真泉さんから、「楽しく幸せに暮らせるように」「人と人をつなげ、差別をなくしていくために」取り組んでいることや思いを聴かせていただきました。澤さんからは、「おかしいことは、おかしいと言える。行動する。」「そして、部落差別を一緒になくしましょう。」と、熱く伝えていただきました。今回の訪問で、差別をなくしていくことを「自分事」ととらえ、これから自分が差別の問題にどう向き合っていくのかを考えるきっかけになったと思います。学級の中でも学びを振り返っています。卒業に向け、差別をなくす主体者として行動し、なかまとつながりを深め、「本当の楽しさ」を共有できる関係になれるよう期待しています。



琴と尺八のコンサート鑑賞 ～アウトリーチ事業～

9月12日（木）は、音楽室で箏と尺八のコンサートを、4・5・6年生が聴かせてもらいました。アウトリーチ事業は、伊賀市内の小中学校の子どもたちが、文化・芸術に親しめるように伊賀市文化都市協会主催で行われています。今回は、箏奏者の麻植さん、尺八奏者の小林さんに演奏していただきました。きれいな音色が音楽室に響き渡るだけでなく、それぞれの楽器を始めようと思ったきっかけや、「みなさんも、これからの長い人生で打ち込めることを見つけてください」と、キャリア教育の視点からもお話をいただきました。演奏後には、子どもたちが箏爪をつけ箏を弾く体験もあり、伝統楽器にふれる貴重な機会となりました。



避難訓練（地震発生）

9月1日（金）、地震を想定した避難訓練を行いました。地震発生時の緊急放送で、子どもたちは一斉に机の下に潜りました。その時に、机の脚を対角線に握る「お猿のポーズ」を実践し、落ちてくるものや倒れてくるものに備えました。その後、一斉に運動場に飛び出しましたが、避難時間も短くなり（1分37秒）、また、避難経路も迷うことなく逃げ出すことができました。災害時に備えた指導をこれからも続けていきます。

